

平成28年度 第1回 COC 実施本部会議 議事録

平成28年5月11日(水)

16:35~17:19

場所:本部大会議室

出席者:清水学長、齋藤教育開発センター長、田浦学生部長、岡野研究開発推進センター長、西谷事務局長、木村企画部長、森地域連携推進担当課長、山村学生支援部長、中井教務担当課長

1. 平成28年度自己点検・評価委員会および外部評価委員会について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配布資料に基づき説明がなされた。

5月14日(土) 9:30~11:10 自己点検・評価委員会

11:10~12:40 外部評価委員会

12:50~13:20 昼食・意見交換

平成28年度の事業計画を中心に説明する。実習の件と研究の件と、今年度は特に力をいれる。

研究は、1. 明和町「産学官連携日本酒プロジェクト」 2. 圏域の若者の意識調査「定住自立と自然災害に関する領域横断データによる伊勢志摩共生マップの構築」 3. JST/RESTEX「輝く女性のワークライフバランスを通じた持続可能な地域デザイン」の3件あり、目標3件には到達である。

審議の結果、異議なく了解された。

2. 平成28年度COC事業自己資金について

審議の結果、異議なく了解された。

3. 「伊勢志摩定住自立圏共生学Ⅰ～Ⅳ」授業体制について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より配布資料に基づき説明がなされた。

受講者数 科目Ⅰ 75名

科目Ⅱ 75名

科目Ⅲ 6名

科目Ⅳ 7名

1学年学生数の1割という受講者数の目標値は、超えている。またグループワークを行う上では、75名は理想的な受講者数である。現代日本社会学部生が多く受講している。今年度、事前事後学修についてはmanabaを利用し、毎週課題を与え、しっかりと行っている。

秋学期開講の科目Ⅲ・Ⅳについては今年度も三重銀総研に委託。現在、社会人履修生を募集中である。連携圏域市町にも受講希望者数の確認をしていきたい。

審議の結果、異議なく了解された。

4. 伊勢志摩共生学実習(地域インターンシップ)受講者数について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

受講者数 A 0名

B 9名

C 4名

D 8名

人数にばらつきがある。今年度の目標数値は4地域30名。

<質疑応答>

(問)伊勢志摩共生学実習Aの履修生は0名だが?

(答)秋学期開講である。履修者を確保していく。共生学Ⅲの座学を受けてからと考えている学生がいるのではないか。

審議の結果、異議なく了解された。

5. CLL活動について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

各圏域市町からの多数申し込みがあり、説明会を4月27日から毎週行っており、6月1日までで10件、7月には5件予定をしている。

- ・（継続）三重大学「大学生による環境に配慮した新たなライフスタイル発掘プロジェクト」
- ・（新規）明和町産学官連携日本酒プロジェクト
- ・（継続）皇學館みらい対話団
- ・（継続）TMMF（玉城ミュージックモンスターフェスティバル）
- ・（新規）伊勢河崎商家リノベーションプロジェクト
- ・（新規）伊勢おもてなしヘルパープロジェクト
- ・（新規）南伊勢町竈（カマ）集落の歴史文化の継承
- ・（新規）『きらり志摩びと紹介番組放送事業』プロジェクト
- ・（継続）あばばい（伊勢志摩国立指定70周年実行委員会・学生部会）
- ・（継続）明和町観光パンフレット作成

『きらり志摩びと紹介番組放送事業』プロジェクトは、行政が中学生に番組を作らせる取り組みで、参加大学生には、その中学生にアドバイスする関わり方で、2回分の放送に携わることを期待している。

各CLL活動には、担当の教員をつけている。活動がきちんと行われているか、活動時間の把握など、目配りをしながら進めている。

審議の結果、異議なく了解された。

6. CLL活動参加学生（学校行事参加者）追加について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長より説明がなされた。

参加学生を、本会議で学校行事の参加者として登録し、1日目からの保険適用をお諮りしたい。

三重大学生を、伊勢の地で本学学生と交流させたいとの話が伊勢市環境課から申し入れがあった。

現代日本社会学部の藤井准教授の地域社会研究会で引き受けていただいた。

■三重大学「大学生による環境に配慮した新たなライフスタイル発掘プロジェクト」名簿一覧

■明和町産学連携日本酒プロジェクト名簿一覧

審議の結果、異議なく了解された。

7. その他

COC+の進捗状況について

三重大学に、COC+担当教員として永野聡氏が就任。4月末にCOC教員と意見交換を行った。

今後の会議と出席者は以下の通りである。

- ①5月13日（金）教育プログラム開発会議……中井教務担当課長、森地域連携推進担当課長
- ②5月16日（月）COC+事業推進会議……齋藤教育開発センター長
- ③高等教育コンソーシアムみえとCOC+の関係について

高等教育コンソーシアムみえで取り組む内容がCOC+と関係しているのかは、明確でない。ただ、COC+とは別であると理解している。

*次回日程

平成28年度第2回COC実施本部会議は、平成28年6月8日（水）、本部大会議室で開催されることが確認された。